

発表番号	演題登録番号	演題名	日時
P1-1	T000173	知的障がい・自閉症のある終末期がん患者への関わりを通して～疼痛評価に日本語版アピー痛みスケール(APS-J)が有用だった1症例～	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-2	T000503	薬物動態を考慮した薬剤選択を行い、オピオイドによって除痛ができた膵尾部がんの1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-3	T000160	がん患者のがん疼痛と併存疾患による疼痛の鑑別に難渋した1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-4	T000056	強い下肢痛のみを呈し診断に難渋した癌性髄膜炎の一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-5	T000285	NRSとFS併用による終末期患者の疼痛管理	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-6	T000071	レスキュー薬評価テンプレート導入の取り組み	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-7	T000507	外来における医療用麻薬使用患者に対する疼痛評価への取り組み	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-8	T000681	部位の重なるがん性・非がん性疼痛の重複により、症状軽減に苦慮した症例経験	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-9	T000014	オピオイドの減量によりQOLの改善が得られた3症例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-10	T000156	難治性がん疼痛に対して在宅で先行オピオイドにメサドンを上乗せし、安全に導入できた一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-11	T000193	当院におけるオピオイド注射開始時の栄養状態と生存期間に関する調査	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-12	T000239	ヒドロモルフォン塩酸塩徐放錠の吸収不良が疑われメサドン塩酸塩へオピオイドスイッチングを行った，回腸切除および回腸ストーマ造設術後の一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-13	T000247	ヒドロモルフォン製剤による薬疹が疑われた1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-14	T000260	メサドン5mg 1 日 1 回投与による薬物誘発性QT延長症候群の1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-15	T000270	心臓原発未分化多形肉腫の多発性筋転移による難治性疼痛に対しメサドンが有効であった一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-16	T000316	オピオイド使用に伴う血管浮腫を生じた一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-17	T000341	オピオイド持続皮下投与における1回レスキュー量の妥当性の検証	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-18	T000451	がん疼痛に対して高用量オキシコドン注射液を使用して疼痛コントロールを行った悪性褐色細胞腫の一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-19	T000478	他のオピオイドからadd-on法でメサドン塩酸塩錠を導入し、良好な疼痛コントロールを得た一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-20	T000485	高用量フェンタニルテープからヒドロモルフォン持続皮下注射へのスイッチングプロトコルを用いた 3 症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-21	T000718	難治性がん疼痛に対し、ケタミンおよびメサドン使用例の効果と予後に関する後方視的検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-22	T000759	肺癌の腕神経叢浸潤による左上肢痛に長期間多量のオピオイドを必要とし、慢性疼痛に移行した後も減量に苦慮している一症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-23	T000526	高用量のオピオイドをヒドロモルフォンへスイッチングした結果、過少投与が示唆された事例の報告と考察	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-24	T000812	オピオイドの換算比に関する全国調査	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-25	T000027	直腸がん再発でオピオイド投与中の緊急人工肛門造設術に際して多角的な周術期疼痛管理が有用であった一症例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-26	T000471	高度の疼痛にオピオイドスイッチとトラマドールの併用が有効であった直腸癌の1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-27	T000637	メサドンをadd-on法で導入し良好な疼痛コントロールを得た難治性がん疼痛の2例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-28	T000805	難治性疼痛を訴える患者に対してオキシコドン徐放錠,ヒドロモルフォン塩酸塩,メサドン塩酸塩を使用し疼痛コントロールを行なった一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-29	T000348	難治性疼痛に対して全身状態に合わせてヒドロモルフォン持続注、ケタミン持続注、メサドン錠、調節型鎮静併用を経て自宅退院が可能となった1症例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-30	T000037	メサドン内服困難時の対応策～145症例における後方視的検討～	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-31	T000042	高用量の強オピオイドから離脱し得た乳がんサバイバーの一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-32	T000252	高用量オピオイドが処方されている患者に対する除痛目的手術後に呼吸抑制を生じた1症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-33	T000268	子宮頸がん術後の疼痛に対して開始されたヒドロモルフォンを不適切に使用していた患者が、ブプレノルフィン貼付剤へ置換することで中止できた1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-34	T000547	当院通院中の患者のうち、10年以上強オピオイドを使用している事例についての検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-35	T000127	呼吸困難に対するモルヒネの有効性～がん・非がんとの比較～	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-36	T000774	拡張型心筋症末期状態における重度浮腫に合併した重症下肢蜂窩織炎の苦痛緩和に用いたモルヒネの持続皮下注が著しい利尿効果をもたらし独歩退院に至った一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-37	T000823	メキシレンとの併用にてメサドン投与で疼痛コントロール可能であった不整脈患者の 1 例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-38	T000487	デスカンフランスを通して見えた課題と認定看護師としての対応 ～医療用麻薬に頼った不安の強い患者への介入を振り返る～	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-39	T000147	がん疼痛に対する医療用麻薬の使用状況の検討～オピオイド持続注射使用に影響する因子～（単一施設における後方視的研究）	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-40	T000597	高用量メサドンの内服困難時に塩酸モルヒネ持続髄注の増量で疼痛コントロールを行い、在宅看取りまで対応できた一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-41	T000705	80歳以上の高齢者のがん疼痛に対するオピオイドの使用状況について	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-42	T000271	緩和ケア病棟における死亡退院症例における死因とオピオイド投与についての検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-43	T000580	オキシコドン徐放錠からヒドロモルフォン徐放錠への変更により退薬症状の軽減が可能となった 1 症例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-44	T000044	オピオイド使用障害に関する看護師への意識調査	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-45	T000403	医療用麻薬の適正使用に向けた取り組みについて	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-46	T000100	メサドン内服が困難になった骨肉腫仙骨転移を原因とした難治性神経障害性疼痛の患者に対してケタミンが著効した1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-47	T000149	オピオイド単独でのコントロールが困難ながん性疼痛に対しケタミン持続注射併用の有用性についての調査～神経障害性疼痛以外の疼痛症例を含めた検討～	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-48	T000151	骨転移痛に対しメサドンを導入したが副作用のため増量できず、少量のヒドロモルフォンとケタミンを併用し良好な疼痛緩和が得られた事例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-49	T000253	治療直前にリドカイン点滴静注を併用することで緩和的放射線治療が可能となったがん疼痛の3症例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-50	T000703	切開排膿ならびに排膿散及湯投与が疼痛軽減につながった直腸癌による陰部膿瘍の 1 例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-51	T000803	筋転移による難治性がん疼痛にオピオイドへのケタミン併用が有効であった胃がん患者の1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-52	T000376	頭蓋底浸潤の難治性頭痛に対してケタミン塩酸塩が有効であった口腔底がんの一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-53	T000326	癌性疼痛に対してジクトルテープを用いた9症例の検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-54	T000029	血液腫瘍患者の帯状疱疹後神経痛に対するミロガバリンの使用経験	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-55	T000086	強い神経障害性疼痛を有する透析患者の退院を見据えた疼痛管理	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-56	T000357	副作用（肝機能障害）の発現によりアセトアミノフェン投与量を減量するも、オピオイドの調節により鎮痛効果を維持できた1症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-57	T000367	緩和ケアにおけるリドカイン血中濃度の非侵襲的予測法：リドカイン持続静注は何mg/日まで安全に投与できるか？	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-58	T000414	S状結腸癌脊髄内転移に伴う疼痛の緩和にステロイドが著効した一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-59	T000212	血液がん患者の口腔粘膜炎に対する半夏瀉心湯の効果	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-60	T000596	常用量で短期間投与したプレガバリン中止後に離脱症状を疑った一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-61	T000157	がん終末期においてオピオイド抵抗性の難治性疼痛を有する患者ヘケタミンを使用することの有用性について	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-62	T000104	緩和ケアにおける耳介低反応レベルレーザー照射の効果	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-63	T000195	地方都市におけるも膜下フェノールブロックのニーズと実践 ～会陰・肛門部痛を有する切除不能直腸がん症例の疼痛緩和を通して	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-64	T000258	がん疼痛と非がん疼痛が混在する難治性疼痛に脊髄くも膜下鎮痛が有用であった一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-65	T000423	がん性疼痛における神経ブロック治療の検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-66	T000437	在宅緩和ケアにおいて、神経ブロックが著効した3症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-67	T000425	難治性の癌性疼痛に対して 架橋的硬膜外鎮痛法と腹腔神経叢ブロックが有効であった1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-68	T000617	発症早期に腹腔神経叢ブロックを施行したことにより、その後の抗がん薬物療法を施行し得た膵がんの一症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-69	T000041	内臓神経ブロック後に血栓塞栓症によると思われる内臓虚血をきたし疼痛管理に難渋した食道胃接合部癌の 1 例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-70	T000755	がん患者腰痛に神経ブロックによる診断的治療を行った3例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-71	T000046	子宮肉腫の難治性多発骨転移痛にくも膜下鎮痛法を駆使して管理した症例	7月5日（土） 15:00～15:30

発表番号	演題登録番号	演題名	日時
P1-72	T000094	巨大仙骨部脊索腫による難治性がん疼痛に対し、くも膜下鎮痛法とメサドンの併用により疼痛緩和が得られた症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-73	T000111	放射線肺臓炎を呈した肺がん患者に胸部くも膜下フェノールブロックを施行し、良好な鎮痛が得られた1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-74	T000194	状態の悪い患者様に当院で行っている神経ブロックの工夫	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-75	T000170	脊髄鎮痛法を用いて転移性脊髄圧迫症が疑われる担癌患者のMRI検査と放射線治療を完遂した2例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-76	T000362	腓体部癌患者の圧迫骨折に伴う難治性非がん疼痛に神経根ブロックパルス高周波法が著効し、精神的苦痛が緩和され患者と緩和ケア病棟スタッフとの関係性が大きく改善した 1 例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-77	T000113	皮下埋め込みくも膜下ポートを造設して疼痛管理を行った患者の在宅医療移行に関する臨床的考察	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-78	T000670	皮下埋設型硬膜外アクセスポート留置により、良好な鎮痛を得られ在宅診療につなげられたが、創部離開後も感染を回避し、在宅療養を継続できた一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-79	T000782	腓体部癌腰椎椎体骨転移の椎間孔及び両腸腰筋浸潤に伴う神経根障害及び両腸腰筋症候群に対しても膜下鎮痛法が有効であった1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-80	T000730	腰痛から肺がん骨盤転移が判明した妊娠18週の妊婦に対し、持続硬膜外ブロックを用いることで痛みが軽減し意思決定が可能となった一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-81	T000142	成人がん患者を対象とした補完代替医療の現状と有効性に関する文献検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-82	T000844	進行がん患者の痛みに対する交番磁界治療器の至適な治療時間の条件に関する多施設共同研究	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-83	T000616	麻薬使用に関連したインシデント報告事例の分析調査～再発防止にむけたリスクマネジメントの取り組み～	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-84	T000250	がん患者の痛みに対するニューロフィードバック療法に関するナラティブレビュー	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-85	T000623	高容量にオピオイドを使用しケミカルコーピングが疑われた一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-86	T000632	在宅末期がん療養者の心理的安定をもたらしたリハビリテーション看護の実際－元柔整整復師へのポジティブヘルスアプローチ－	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-87	T000229	スピリチュアルケアとオピオイド貼付薬による慢性疼痛管理で社会復帰を支援した両上肢切断の一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-88	T000308	緩和的動脈塞栓術により早期に疼痛緩和できた肝内胆管癌左腸骨転移の1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-89	T000228	大腿部軟部腫瘍の疼痛に対し、高用量のオピオイド投与中だったが、緩和放射線治療が効果があり、オピオイドを漸減し、退業症状の出現無く、オピオイドフリーとなった1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-90	T000544	悪性黒色腫有痛性骨転移仙骨神経叢浸潤に対するIVR先行放射線治療の1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-91	T000588	薬物療法、放射線照射、手術療法後もコントロール不良な臀部・下肢痛に対し転移性脊椎腫瘍へのIVRが有効であった一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-92	T000756	がん疼痛と慢性疼痛での服薬指導の違いに困惑した長期がんサバイバーの一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-93	T000449	卵巣がん術後化学療法後の巨大肝転移・腹膜播種による治療に難渋する疼痛と消化器症状に対して、放射線治療が有効であった一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-94	T000490	絵を書くことで疼痛コントロールと周囲とのコミュニケーションが円滑化した10歳代後半の自閉スペクトラム障害を合併したユーイング肉腫患者の一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P1-95	T000352	急激な心窩部痛で緩和ケア科に救急搬送、門脈ガス血症が発見されたが、三次救急病院との連携により迅速に診断治療のアセスメントを得られた下顎骨中心性局所再発癌の一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P1-96	T000433	骨盤内臓全摘術後に生じた幻膀胱痛（Phantom Urinary Bladder pain）に対し集学的アプローチを行った一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-1	T000213	緩和ケア病棟においてリザーバー付き鼻カニュラを使用した 3 例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-2	T000475	慢性閉塞性肺疾患の呼吸困難に対してモルヒネ塩酸塩注射液持続投与使用後にトラマドール塩酸塩錠内服にスイッチし自宅退院が可能になった一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-3	T000592	ミダゾラム注射、フェノバルビタル坐剤により効果を得ず、フェノバルビタル注射により良好な鎮静を得た壮年期がん患者の2例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-4	T000819	悪性リンパ腫による癌性胸水に対してステロイドが奏功した症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-5	T000272	がん患者の呼吸困難感に対する各種オピオイドの有効性の比較	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-6	T000303	血液透析中の肺がん患者の呼吸苦症状に対してヒドロモルフォン錠により良好なコントロールが得られた一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-7	T000165	コレステロイドが著効し呼吸困難に対するオピオイド投与を終了し得た、気管浸潤により主要気道閉塞を来した甲状腺がんの1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-8	T000214	呼吸困難、精神運動興奮対応に難渋した慢性血栓性肺高血圧症の1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-9	T000166	在宅医療において、肺癌患者にリザーバ式酸素供給カニュレを使用した2症例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-10	T000417	上気道狭窄による苦痛緩和目的に開始した持続的深い鎮静を中止することができた一症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-11	T000024	腓体部癌十二指腸浸潤による通過障害でステント内挿術施行後の再狭窄、再々狭窄にステント内ステント留置することで長期経口摂取を維持できた 1 例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-12	T000114	難治性腹水を伴う肝硬変患者における腹水濾過濃縮再静注法の長期成績	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-13	T000243	悪性腹水患者に対する腹腔穿刺の腹水排水量ごとの安全性と有効性	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-14	T000209	テネスマス症状で頻回のトイレ通いを要したcollagenous colitisと考えられた1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-15	T000735	オピオイド使用中患者に対するナルデメジン処方の実態調査	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-16	T000793	回腸ストマによる多量水様便にブチルスコボラミン臭化物が有効であった 1 例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-17	T000807	終末期卵巣癌患者の癌性腹膜炎による症候の後方視的検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-18	T000750	肺癌におけるGastric outlet obstructionに対する外科的介入の位置づけ	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-19	T000527	当院における緩和的大腸ステント留置術の検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-20	T000575	デンバーシャントを行う際のインフォームド Consent 用紙の作成とその運用について	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-21	T000291	腹水貯留を伴う卵巣癌末期の血液透析患者に定期血液透析と腹水除去の併用が奏功した一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-22	T000429	食道胃接合部がんの食道閉塞にステロイド大量療法が奏功した一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-23	T000564	放射線治療後の難治性下痢に対してコレステラミン投与が有効であった 1 例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-24	T000627	消化管穿孔による緊張性気腹症に対して腹腔ドレナージが症状緩和に有効であった終末期がん患者の一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-25	T000796	抗癌化学療法後に不完全腸閉塞が疑われた4型胃癌の一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-26	T000534	せん妄・悪心に対して院内製剤を使用し経直腸的にレボメプロマジンを投与した3例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-27	T000640	高度悪性腹水による難治性嘔気、排尿障害に対し腹水の少量除去により効果的に改善した1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-28	T000795	腹腔内カテーテルによる腹水ドレナージをしたまま自宅退院となった 2 事例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-29	T000106	臍ヘルニアが出現しQOLを損ねることになった非代償性肝硬変、大量腹水貯留の1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-30	T000028	がん終末期における消化管狭窄に対し、オクトレオチド酢酸塩を投与して食行動を支援した2症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-31	T000745	がん看護リクナースが主体となって取り組んだ排便管理についての活動報告 ー排便管理の定着化にむけてー	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-32	T000059	がん悪液質により血管内皮グリコカリックス脱落が生じるか？ ～がん悪液質マウスモデルにおける検証～	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-33	T000280	腓尾部がん患者に認めたナイアシン欠乏症：ペラグラの1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-34	T000311	アミノ酸サプリメントの摂取により血清アルブミン値が改善した婦人科終末期癌患者の2症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-35	T000804	がん患者の食の悩みに応えるための当院の活動	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-36	T000518	がん関連倦怠感に対するアクティビティベ－シング法の効果と行動変容技術分類：システムチェックレビュー	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-37	T000368	がん患者の倦怠感に対するニューロフィードバック療法に関するナラティブレビュー	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-38	T000384	がん患者の神経障害性疼痛の緩和にトラマドールが有用であった症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-39	T000299	化学療法誘発性末梢神経障害に牛車腎気丸が有用であった2症例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-40	T000442	化学療法誘発性末梢神経障害(Chemotherapy-Induced Peripheral Neuropathy: CIPN)に対する鍼灸治療の長期介入の効果	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-41	T000068	原発臓器の有無による尿路上皮癌終末期症状への影響	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-42	T000095	ステンレスメッシュ入り尿管ステント（Tumorステント®）留置により腎後性腎不全を改善し得た腫瘍性尿管閉塞（MUO） の 2 例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-43	T000322	前立腺密封小線源療法後の尿道狭窄症を併発した放射線性膀胱炎に対し高気圧酸素治療を行った症例ー日本語短縮版マギル痛み質問紙(SF-MPQ)による評価ー	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-44	T000331	終末期がん患者の頻尿と不眠に対して猪苓湯が有効であった1症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-45	T000305	緩和ケア病棟の褥瘡保有低亜鉛血症患者への亜鉛製剤投与による血清亜鉛値の推移は血清アルブミン値、血清CRP値に相関する	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-46	T000306	腎障害を伴う肝内胆管癌の難治性そう痒に{u}ガバベンチン{/u}が有効であった1例	7月4日（金） 16:30～17:00

発表番号	演題登録番号	演題名	日時
P2-47	T000057	乳がん皮下播種に伴う疼痛に対し、院内製剤10%リドカインゲル塗布が有効であった 1 症例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-48	T000066	緩和ケア病棟入院中のがん患者の浮腫ケアの現状	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-49	T000686	塩酸モルヒネ注射剤変更で重度な掻痒感を生じ、フェンタニル注射剤へのスイッチング後に掻痒感が消失した 1 症例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-50	T000069	免疫チェックポイント阻害薬治療中に発症したStevens-Johnson症候群の2例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-51	T000472	生体電気インピーダンス分析法からみた胸腹水濾過濃縮再静注法の治療効果	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-52	T000673	下肢の浮腫みケア早期から対応していくためには	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-53	T000687	テノスマブ投与により顎骨壊死を生じた乳癌骨転移の2例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-54	T000546	露出した下顎骨再建プレートに対する終末期ケアを経験した薬剤関連顎骨壊死の一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-55	T000084	ナルデメジン投与開始後に多発脳転移が発覚したがオピオイド鎮痛効果減弱やナルデメジン中止によるオピオイド過量症状を認めなかった乳癌多発脳転移の一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-56	T000327	髄注化学療法および髄液ドレナージで病勢制御および症状緩和が得られた胃癌癌性髄膜炎の一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-57	T000783	硬膜外転移による脊髄空洞症を合併し、放射線治療が奏効した進行胃癌の1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-58	T000563	食道癌の全身転移に対して症状緩和のため集学的加療を施行した1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-59	T000238	左肺癌術後臍胸に対する治療で気管切開・人工呼吸器管理にて当院転院後、転移性脳転移が判明し病院にて最期をむかえた1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-60	T000184	セフメタゾールナトリウム静注用の皮下投与により注射部位反応が生じた3例の報告	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-61	T000570	緩和ケア病棟における抗菌薬投与に関する検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-62	T000284	緩和ケア病棟において血液培養検査が感染症診療に与える影響の検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-63	T000607	緩和医療における静脈血栓塞栓症治療の実態	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-64	T000267	頻回な輸血を必要とした難治性貧血にたいして、抗てんかん薬を中止した後に貧血の改善を認めた末期肺がんの1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-65	T000244	保存的治療の難しい出血に対して、低侵襲である放射線照射やIVR治療を行った8名の患者の検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-66	T000646	腎細胞癌脾転移巣からの腫瘍出血に対して放射線緩和照射が有効と考えられた一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-67	T000110	陰嚢腫大で発症し急な経過をとった終末期盲腸癌の消化管穿孔の1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-68	T000102	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の腫瘍崩壊症候群にステロイドが著効した一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-69	T000821	メサドンの中止がアカンジアの出現に影響したことが示唆された一事例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-70	T000199	頭皮冷却法導入4年後の評価：患者体験と医療者支援の実態に関する調査	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-71	T000494	外来化学療法室におけるがん患者への栄養介入の充実をめざして	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-72	T000132	放射線性粘膜炎に対して少量短期間のステロイド全身投与が有効であった2症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-73	T000153	難治性の放射線性直腸炎に対して、高気圧酸素治療や内視鏡治療、薬物治療など集学的治療で軽快した症例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-74	T000152	抗がん剤治療の地域連携：在宅緩和ケア医が行う、がん治療病院の抗がん剤治療サポート	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-75	T000674	二重特異性抗体エブコリタマブで治療を行った再発難治性悪性リンパ腫の患者に対して緩和医療の重要性を感じることができた 1 例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-76	T000668	積極的治療と在宅医療の早期からの二人三脚でがん治療を完遂できた難治性乳癌漏症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-77	T000070	がん支持療法としての鍼灸治療の普及を目指したセミナー開催の報告	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-78	T000373	外来でアザシチジン療法を受けている急性骨髄性白血病高齢患者の困難およびケアニーズ	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-79	T000261	受診遅延に至った外来がん化学療法を受ける患者の心理的要因に関する調査	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-80	T000532	進行・再発膀胱癌における積極的治療終了後の緩和ケア介入と課題	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-81	T000614	BSCから一転、がんゲノムプロファイリング検査により薬物療法導入した原発不明癌骨転移の1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-82	T000119	多職種が介入して施行する訪問診療クリニックにおける訪問化学療法の実態調査報告	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-83	T000364	骨盤腫瘍における速やかかつ安全な症状緩和達成を目指す超短期緩和照射QUAD shotの有効性の検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-84	T000411	口腔内腫瘍に対して、啞え型スパーサーを自作し定位照射を行った1症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-85	T000723	大腿への放射線治療後、遅発性に大腿動脈閉塞と坐骨神経障害を来した1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-86	T000292	明細胞肉腫に対する緩和的体幹部定位放射線治療	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-87	T000501	National Database（NDB）を用いたCOVID-19パンデミック時期の単回緩和放射線治療の傾向と変化	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-88	T000504	婦人科腫瘍に対する小線源治療時の鎮痛・鎮静についての解析	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-89	T000600	当院呼吸器内科での緩和目的放射線療法の実状	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-90	T000353	頭頸部がん患者が多職種による支援を受け外来放射線治療を完遂した事例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-91	T000813	腫瘍性腸腰筋機能不全をきたした2例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-92	T000843	メルケル細胞癌に対して、根治照射から緩和照射まで行った一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-93	T000461	緩和面談時における緩和的放射線治療の潜在的適応患者の検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-94	T000032	無症候性骨転移患者を対象とした早期緩和的放射線治療のQoL改善効果：前向き観察研究	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-95	T000587	進行大腸癌に対する緩和的ストーマ造設症例の治療経過と意義の検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-96	T000666	腹膜播種病変による腸閉塞に対する緩和手術	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-97	T000554	症状緩和手術としての腸瘻造設手術症例の臨床検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-98	T000162	超高齢大腸癌患者における重篤な術後合併症のリスクおよびFailure to rescueについての検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-99	T000216	当院緩和ケア病棟においてオピオイド誘発性便秘薬：ナルデメジントシル酸塩を使用した検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-100	T000234	多職種カンファレンスで経鼻胃管の妥当性を評価した1症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-101	T000301	更年期症状のホットフラッシュ、発汗に漢方薬が有効であった一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-102	T000818	緩和ケア科入院のきっかけとなる体調不良の原因が、遅発性免疫有害事象（遅発性irAE）であったと考えられる一事例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-103	T000521	放射線治療の約40年後に腕神経叢麻痺を発症した乳癌患者の一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-104	T000654	多発する頭頸部皮膚転移の自壊創に対し、Mohs軟膏処置を繰り返すことによりQOLの改善が得られた1例－Mohs軟膏塗布方法の工夫	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-105	T000473	腫瘍随伴低血糖症を伴った終末期腹膜がん患者の一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-106	T000062	アルゴリズムを用いた終末期がん患者における血糖コントロールについて ～患者負担とリスクの軽減を目的とした当院緩和ケア病棟における工夫～	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-107	T000579	舌癌終末期における左頸部皮膚瘻孔からの浸出液管理としてパウチングが有効であった一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-108	T000788	抗がん治療中の諸症状に漢方薬が有用であった 2 症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-109	T000385	がん患者の異食行動にバルプロ酸が有効であった1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-110	T000312	放射線治療抵抗性の多発脳転移にBevacizumabを使用し在宅療養へ移行し得た再発大腸癌の1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-111	T000595	食道気管瘻を起こした肺がんの2事例	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-112	T000196	緩和ケア病棟での理学療法士の役割と有用性	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-113	T000594	終末期患者における死亡直前の筋肉量と臨床背景の検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P2-114	T000708	腹膜播種による腹部膨満感に対して集学的な介入を行ったがん性腹膜炎の2症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P2-115	T000731	当院における低血糖発作に関する検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-1	T000512	子どもを持つがん患者における、さらなる支援ニーズと気がかり、不安・抑うつに関連	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-2	T000690	短期間のマインドフルネス瞑想により抑うつ症状の改善を認めた高齢の急性リンパ性白血病患者 1 症例	7月4日（金） 16:30～17:00

発表番号	演題登録番号	演題名	日時
P3-3	T000246	緩和ケア病棟入院中に自殺企図を認めた一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-4	T000222	緩和医療科入院患者における入院時のせん妄の有無と関連因子－横断研究	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-5	T000639	術前栄養評価とがん術後せん妄発症リスク	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-6	T000699	プロナンセリンテープ中止により覚醒レベルが改善しQOL改善された 1 症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-7	T000738	せん妄に失語を伴ったため脳転移を疑い頭部CTで診断に至った一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-8	T000629	認知症の進行と疑われた徘徊症状がビタミンB1欠乏症によるものと判明した進行胃癌患者の一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-9	T000295	ベンゾジアゼピン系薬剤とアルコールの乱用を認めたがん周術期の患者に対し、抑肝散とレンボレキサントの併用にて、離脱せん妄と術後せん妄を予防できた一症例	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-10	T000820	せん妄患者の主観的世界の理解が不安緩和に繋がった一例-心理介入の一場面から	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-11	T000648	がん告知後の抑うつ状態・食思不振・アルコール使用障害を背景に、せん妄の鑑別に苦慮した一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-12	T000251	TDDSを用いて終末期せん妄症状の評価を実施した 1 例～終末期せん妄を発症し、家族の希望に基づいた抗精神病薬の投与量コントロールを行った事例～	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-13	T000300	せん妄加療中に著しい抗精神病薬過敏性を認めレビー小体型認知症と診断した一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-14	T000325	ハロペリドール注射剤と比較した、進行がん患者の終末期のせん妄に対するプロナセリン貼付剤の使用量：単施設後ろ向き観察研究	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-15	T000207	せん妄患者に対するヒドロキシジン投与の効果について	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-16	T000392	がん専門病院におけるせん妄予防のための非薬物療法に関する看護師の知識・認識、実施状況についての実態調査	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-17	T000185	院内で自殺企図があった後に心理士につながったがん患者3事例を振り返って	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-18	T000340	前頭葉の脳腫瘍に伴う人格変化に対し公認心理師の介入が有効であった2例	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-19	T000808	患者が自分らしさや大切な価値を見出し、自分らしい生へと繋がった心理支援 ～患者のナラティブから展開する心理士の関わり～	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-20	T000809	乳がん患者の感情表出に対して外来看護師が出来ること	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-21	T000227	AYA世代の卵巣がん患者に対する触れるケアと多職種協働での寄り添いから得られたもの	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-22	T000023	ライフレビューAIアプリによる進行がん患者への精神的心理的支援の可能性	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-23	T000408	死を意識したがん患者の精神的ケアを考える～森田療法による本人らしい生き方の回復～	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-24	T000098	終末期若年成人がん患者のスピリチュアルペインに対する看護	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-25	T000557	がん患者に対する当院の自殺予防対策への取り組み	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-26	T000583	"Bad News"後に不安を表出するがん患者への支援 ～聴くこと、ケアリング、寄り添う人～	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-27	T000430	精神科受診を拒否する在宅療養中のがん患者への専門看護師の関わり	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-28	T000499	心筋転移により致死性不整脈を繰り返し、終末期の定義や蘇生中止の時期に関して患者・家族・医療者間で葛藤が生じ、治療関係が破綻しかけた一例～危機的状況の心理支援～	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-29	T000424	全盲がん患者の陰茎切除によるアイデンティティ喪失と回復	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-30	T000038	がん相談支援センターにおけるアビアランスケア充実への取り組み	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-31	T000347	緩和ケア病棟でのGOOD DEATHとスピリチュアルケア	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-32	T000643	臨床宗教師が医療現場に在ることの効果の研究：米沢市立病院での事例報告	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-33	T000290	末期肺がん患者のスピリチュアルペインに起因する自殺企図の一例 ：緩和ケアスクリーニング運用の課題と改善策	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-34	T000635	過去・未来・事実・思いの4分割による対話の進め方によるスピリチュアルケアの可能性	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-35	T000330	乳がん患者の夫の体験：子どもへの病状説明に焦点をあてたナラティブ分析	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-36	T000537	がんになった親の子どもに対するサポートプログラムCLIMB®の開催報告 ～「北海道CLIMB」発足を通して～	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-37	T000663	CLIMB®親プログラム開催報告～北海道CLIMBとしての取り組み	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-38	T000667	脳腫瘍の患児を拒絶していた姉に対し、きょうだい支援にて関係修復に成功した症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-39	T000624	脳卒中を契機に発見された意識レベルの低下した肺癌患者とその家族へのケア	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-40	T000613	当院の「看取りのパンフレットの説明」における実態調査とスキルアップを目指した取り組みについて	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-41	T000078	限りある命の中で、母子関係を築きたいと願うがん患者のスピリチュアルペインと看護の振り返り～母子を取り巻く家族へのアプローチの振り返り～	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-42	T000171	パーソナリティ障害の末期がん患者である母親との死別を迎える幼児を多職種で支えた一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-43	T000431	生命を脅かされた子どもとその家族を支える-NPO法人福岡子どもホスピスプロジェクトの挑戦-	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-44	T000497	当院におけるグリーフカードによる遺族ケアの現状と課題	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-45	T000379	子育て中のがん患者の懸念と関連要因：後方視的観察研究	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-46	T000524	がん患者の親をもつ子どもへのサポートチーム（SKIP KEIO）10年間の活動～一大学病院での継続的な支援活動の振り返り～	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-47	T000538	がん患者である妻と死別した夫が抱くがんの診断から看取りまでの心情	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-48	T000413	終末期骨髄異形成症候群患者を在宅で看取った家族への看護	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-49	T000679	衰弱する母親としての姿を見せたくない思いから一転、未就学児のデス・エデュケーションを自らの言葉で行い、旅立たれた30代終末期がん患者への在宅緩和ケア協働支援の一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-50	T000359	フレイル下で透析中止を希望する高齢がん患者と相反する家族の意思決定支援に対する看護師のアドボカシー	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-51	T000540	ホスピタル・ファシリティーダックによる小児歯科診療サポート ～長期入院加療中の患者を対象とした活動報告～	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-52	T000742	コミュニティでグリーフケアを実施することの意義：がんの影響を受けている人のための居場所『マギーズ東京』における遺族の利用状況	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-53	T000054	がん患者の家族に対する支援体制の構築 ～家族外来開設に向けた取り組み～	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-54	T000799	こどもを亡くした遺族に対しグリーフ&ビープメントケアの介入が可能であった4例	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-55	T000397	グリーフケアを行う支援者同士のネットワーク構築を目指すグリーフを学ぶ会の活動報告 ～参加者アンケート分析から見た参加者の学習ニーズと支援者の支援～	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-56	T000211	グリーフケア外来にできること ～遺族と生老病死を慈しむ～	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-57	T000469	緩和ケア病棟から自宅退院した患者の最終的な看取り場所と看取り方針の一致	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-58	T000204	神奈川県立こども医療センターにおける遺族会の取り組み	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-59	T000693	遺族アンケート結果から見えた当院緩和ケア病棟で提供されている家族ケアへの評価と今後の課題	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-60	T000198	COVID－19感染後4年ぶりに開催した遺族会「みもぎの会」の活動報告	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-61	T000842	初発悪性リンパ腫患者が症状を自覚後受療過程でとらえる病気の認知・認識体験	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-62	T000555	地域における緩和ケアの普及 ～がん相談支援 tomoniなごやの活動～	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-63	T000825	障害のある患者さんの来院時の対応 ～障害のある患者の来院時に医療者が感じる戸惑い・困りごとと、研修の効果～	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-64	T000058	「がんサポート外来」の意義と有用性の検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-65	T000264	がんピア・サポーター養成講座の宮崎での取り組みと今後の展望	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-66	T000287	がん相談支援における院内ピアサポートの活用に関する論点：現状調査からの質的分析	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-67	T000543	罹患時期が「社会に出る前」であることによる小児・A世代がん患者・経験者の就労の課題とその支援	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-68	T000749	異なる医療環境を背景に持つ患者への緩和ケアの課題：在留外国人の症例を通して	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-69	T000344	治療期における成人期がん患者が抱える社会的苦痛の現状と必要な支援	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-70	T000834	解決困難なソーシャルペインによるハラスメントをスピリチュアルケアによって緩和した事例から在宅ハラスメント対策を考察	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-71	T000128	薬物使用を強く拒否した患者における患者中心の緩和ケアの実施	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-72	T000130	がん治療を断念した終末期がん患者の死を見据えたTransitionを支援する看護内容の検討 第2報	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-73	T000203	がん薬物療法を継続している再発がん患者がその人らしく生きることを支えるスペシャリストナースの実践	7月5日（土） 15:00～15:30

発表番号	演題登録番号	演題名	日時
P3-74	T000236	AYA世代患者の"自分らしさ"を支える～成人式への出席にむけた支援を通じて～	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-75	T000386	溶骨性難治性がん疼痛に行った脊髄くも膜下フェノールブロック ～「看護師」のプライドを持ち続け、生き抜くことを支えたケア～	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-76	T000146	COVID-19禍中のがん患者の孤独感とレジリエンス：メンタルヘルスの変化に基づく検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-77	T000201	緩和ケアにおける薬剤依存の予防を目指した関わり方	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-78	T000286	がん患者・家族の家族内葛藤を捉えるがん看護専門看護師の視点：質的研究	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-79	T000183	大好きなテーマパークへの外出を通してスピリチュアルケアを行った一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-80	T000645	自殺を企図した癌患者の緩和ケア病棟における身体的・精神的ケアについて	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-81	T000418	一般病棟で人工呼吸器装着中に危険行動を繰り返す患者の意思を尊重した看護により危険行動が減少した一例 ―患者の行動背景にある思いをくみ取ったケアの実践―	7月5日（土） 15:00～15:30
P3-82	T000777	緩和ケアにおける尊厳の役割。患者の尊厳と尊厳ケアに関する医療専門家の視点	7月4日（金） 16:30～17:00
P3-83	T000416	がん緩和ケア支援AIアプリ『PalliEase（パリース）』を用いた精神症状の病態に関する検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-1	T000255	看取り期の訪問看護師のかかわりを考える 看取りの場が「施設」から「自宅」に変わった事例の振り返り	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-2	T000083	終末期にある在宅療養者とその家族への食支援に関する質的記述的研究 ―訪問看護師と管理栄養士の協働による食支援を受けた3事例遺族へのインタビュー調査から―	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-3	T000609	QOLの改善、在宅療養への方向性のもと皮下埋込式アクセスポートをがん性胸水貯留内に挿入した1事例	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-4	T000611	在宅緩和ケアにおける末梢静脈確保困難症例に対する末梢挿入型中心静脈カテーテル(PICC)留置の有用性の検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-5	T000636	本「人のさいご」を用いて死にゆく過程を伝える	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-6	T000669	専門的緩和ケアと基本的緩和ケアを実践する民間の多職種協働による地域緩和ケアのひとつの形	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-7	T000683	在宅緩和でのCADDポンプ使用によるオピオイド持続投与の実態と今後の課題	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-8	T000721	在宅における終末期がん患者へのリハビリテーションの効果～独居頭頸部がん患者の全人的苦痛の緩和が図ることができた一症例を振り返って～	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-9	T000737	在宅緩和ケアを受ける患者へIPOSを使用した効果に対する考察	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-10	T000769	地域医療の限界を超えて最期まで支えたがん患者の在宅療養	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-11	T000845	終末期癌患者に対する「看護小規模多機能型居宅介護」の有用性	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-12	T000259	オピオイド持続皮下注、フェンタニル貼付剤を拒否する嚥下困難患者に対して、オキシコドン徐放カプセルの脱カプセルが癌性疼痛に有効だった1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-13	T000671	在宅医療におけるメサドン開始事例の検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-14	T000088	在宅医療を継続しながら緩和照射を行い良好な疼痛コントロールを得た腎癌多発骨転移の1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-15	T000824	在宅療養中の疼痛をもつ進行がん患者・家族および介入した訪問看護師による遠隔看護介入効果	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-16	T000363	緩和ケア医と血液内科医の協働による終末期血液疾患患者の在宅看取り：輸血中止の意思決定支援を通して	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-17	T000396	在宅療養中に挿入型除細動器（ICD）停止をおこなった終末期肝門部胆管癌患者の1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-18	T000479	終末期患者における在宅でのアセナピンの使用経験	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-19	T000610	小児脳幹部神経膠腫の在宅看取り―姉弟同時期発症の稀な事例を通して―	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-20	T000797	在宅がん患者のQuality of Death and Dyingに関連する因子:死亡個票データと全国遺族調査を用いた解析から	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-21	T000474	緩和ケア病棟と在宅緩和ケアの間の円滑な移行のために	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-22	T000297	多職種連携による支援を行えず在宅緩和医療体制の構築に難渋した終末期がん患者の1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-23	T000510	終末期の療養を念頭に置いたがん治療期からの「訪問ファースト」の取り組みについて	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-24	T000677	在宅緩和ケアにおけるクーデックエイミーPCAの有用性に関する検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-25	T000727	子供と過ごすために自宅にすることを希望した母親を多職種で支援し最期まで自宅療養を叶えられた一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-26	T000700	小児神経芽腫患者に対する在宅緩和ケアにおいて、初めて小児を担当する在宅側と大学病院とで機能的なチームアプローチを行った一例 ―大学病院チームからの振り返り―	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-27	T000792	小児難治性神経芽腫患者に対する在宅緩和ケアにおいて、初めて小児を担当する在宅側と大学病院とで機能的なチームアプローチを行った一例 ―在宅チームからの振り返り―	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-28	T000388	在宅緩和ケアや終末期看護におけるPOCUSの有用性 ～訪問看護師による3症例の実践報告～	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-29	T000784	高齢心不全患者の在宅緩和ケアにおける社会資源活用と課題	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-30	T000553	保存的腎臓療法（CKM）を行った在宅腎不全患者の一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-31	T000791	在宅セッティングでの腎不全末期および透析中止後における看取りの検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-32	T000090	緩和ケア病棟におけるICT情報共有ツール利用による在宅緩和ケア症例の遺族アンケート	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-33	T000790	ホスピスを希望される在宅診療中の終末期がん患者の最終的な看取り場所の検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-34	T000036	在宅医療における緩和ケアチーム（PCT）活動について	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-35	T000143	AIを活用した医師業務効率化の効果について	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-36	T000833	看護の力で拓く、在宅緩和ケアの未来～医療連携室発足による新たな支援のかたち～	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-37	T000591	緊急往診車の活動報告-在宅緩和ケアの充足を目指して-	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-38	T000630	気持ちが揺れ続けた患者の「生きる意味」を支援に繋げることができた一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-39	T000025	管理栄養士とともにがん終末期患者の在宅療養を支えた2症例の報告	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-40	T000077	終末期の問質性肺炎患者に対する訪問リハビリテーションにより行動変容に繋がった症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-41	T000761	利用者と家族に寄り添う終末期リハビリテーション～QOL向上に着目した一事例～	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-42	T000800	在宅医療・看護・福祉で連携し実践する丁寧なケアへの取り組み	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-43	T000830	独居のがん患者がADL低下しながらも看多機を利用し在宅生活を継続出来た一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-44	T000841	左室補助人工心臓を装着した肺がん患者の在宅看取りのために在宅医療と大学病院が連携して緩和ケアを行った一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-45	T000678	在宅医療で薬剤師主導デスカンファレンスを実施した肺がん患者の一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-46	T000736	がん患者への患者報告型アウトカム導入による適切な症状評価を目指して ―在宅領域におけるIPOSの活用を考える―	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-47	T000121	退院支援カンファレンスシートを活用した緩和ケア患者退院支援の一事例	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-48	T000177	在宅緩和ケアに移行する患者への支援～スタッフが感じている困難感の実態調査と課題の検討～	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-49	T000491	ストレングスモデルを意識した退院支援の一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-50	T000529	コロナ禍におけるがん患者の療養場所の変化～コロナ禍の病院移転を経験してみえてきた課題と今後の取り組み～	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-51	T000661	切除不能肺癌患者の終末期療養場所の推移	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-52	T000732	強心剤持続投与にて在宅退院を実現した慢性心不全患者の退院調整	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-53	T000691	多職種連携にて診療した統合失調症併存乳がん患者の2例	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-54	T000033	終末期がん患者に対する一般病棟看護師の退院支援の実態に関する文献検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-55	T000455	一般病棟におけるレスキュー薬自己管理指導の一例 ―多職種連携による在宅療養の実現―	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-56	T000103	緩和ケア病棟における長期入院患者のリスク要因分析：単施設後方視的研究	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-57	T000137	患者が住み慣れた地域で自分らしく過ごせるための医療体制を目指して ～訪問看護師と連携ができる看護師の育成～	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-58	T000811	難治性がん疼痛に対する皮下埋め込み硬膜外ポート造設した患者の在宅看取りに向けた退院支援からみえてきた今後の課題	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-59	T000159	コロナ禍において終末期患者が在宅療養を選じた要因	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-60	T000158	病棟の枠組みを超えた連携を図り、在宅復帰支援に携わった症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-61	T000174	A大学病院と連携し、新規B病院で緩和医療を実施できた2症例	7月5日（土） 15:00～15:30

発表番号	演題登録番号	演題名	日時
P4-62	T000283	地域包括ケアを担う看護師の人材育成	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-63	T000488	「家族と自宅で過ごしたい」と望んだ終末期がん患者への退院支援と地域連携	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-64	T000528	当院緩和ケア病棟からの施設退院症例から見た地域連携の課題	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-65	T000536	当院における地域連携と看取りの状況について	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-66	T000719	訪問診療所と大学病院の連携により難治性疼痛の緩和が得られたがん終末期の一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-67	T000333	放射線治療装置のない施設との緩和照射推進活動 ～放射線治療科と緩和ケアチームでの取り組み～	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-68	T000045	治療および療養の場の意思決定支援に難渋した、高齢独居の多発骨転移を伴う去勢抵抗性前立腺癌の1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-69	T000043	緩和ケア病棟から在宅療養移行となった声門上癌再発の1例 –ICT情報共有ツール利用による有機的地域連携–	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-70	T000112	肺癌患者の看取りにおける療養先決定の要因に関する考察	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-71	T000190	強心薬とモルヒネ持続投与中の末期心不全患者で、PCAポンプ2台を使用して自宅退院でき、長期療養が可能となっている一事例	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-72	T000506	「訪看ファースト」症例における在宅介護サービスの利用について	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-73	T000065	患者・家族の価値観をつなぐ～重層的支援会議のとらきみ～	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-74	T000701	がん拠点病院における転院に関する話し合いの実態：全国多施設調査 中間報告	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-75	T000531	特殊型PCAポンプによるオピオイド持続皮下注射で地域を繋ぐ –エイミー®でボタンを繋いだ2例を踏まえて–	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-76	T000702	緩和と治療目的で広域搬送されたが、緩和ケア病棟から社会復帰できた1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-77	T000733	地域医療連携推進法人米沢ヘルスケアネットの現状について 米沢市立病院と三友堂病院に医療連携についての検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-78	T000034	AYAがん患者の在宅看取りに24時間医看薬のチーム医療体制で取組んだ事例報告	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-79	T000161	県外から転居後、予後予測指標から患者・家族に推定予後を共有し、患者・家族の人生の選択に貢献し得た2症例	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-80	T000097	官民連携を目指した新病院緩和ケア部門の現状と課題	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-81	T000055	在宅療養に向けた自己調整鎮痛法導入に関する取り組み	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-82	T000577	当院における緩和ケア地域連携の現状と課題	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-83	T000725	緩和ケア外来におけるMSWとしての関わり –地域との連携を要した症例から見えてきた課題–	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-84	T000420	始良霧島曾於緩和ケア連携協議会（AiKISS Net）の現状と展望	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-85	T000552	ステークホルダーマッピングを用いた地域連携教育の取り組み	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-86	T000724	連携強化に向けた緩和ケア部門転院システムについて	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-87	T000072	紹介元病院と共同開催したデスカンファレンス7件の報告	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-88	T000744	院内看取り患者の看看連携としての振り返りを通して気づけた視点	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-89	T000443	小児緩和ケアにおけるポケモンカードを用いたアيسブレイクの試み	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-90	T000626	小児がんにおける治癒を目指した治療と緩和医療のシームレスな連携：在宅医との協働によるハイブリッド緩和ケアの実践	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-91	T000574	小児がん性疼痛に対するヒドロモルフォン使用経験	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-92	T000515	重症心身障害児の呼吸困難に対してモルヒネ持続静注により安全かつ有効な緩和を得た1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-93	T000620	事例報告：疼痛管理プロトコルを用いてジヌツキシμπを使用した4症例	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-94	T000440	AYA世代のがん患者の家族における介護者負担感：全国遺族調査	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-95	T000651	詳細な病状や予後を告知されていない、終末期にある思春期がん患者1症例の病気体験とその思い ～テキストマイニングを用いて～	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-96	T000598	苦痛緩和に持続鎮静が必要であったAYA世代がん患者の自宅看取り2例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-97	T000751	AYA世代の終末期がん患者の療養の現状について	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-98	T000281	超低出生体重児に生じた呼吸困難に対してファンタニル、ミダゾラムを用いて有害事象なく症状緩和が得られた一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-99	T000009	Experience of Pediatric Neuropalliative Care: ACP to end-of-life care	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-100	T000631	小児悪性腫瘍終末期の静脈路確保においてmidlineカテーテルが有用であった1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-101	T000787	造血幹細胞移植後の移植片対宿主病終末期における苦痛緩和を行った小児の一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-102	T000382	大学病院における小児緩和ケアチームの立ち上げおよび活動報告	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-103	T000816	終末期AYA世代のがん患者における意思決定支援の実践報告	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-104	T000277	子育て世代がん患者・家族の支援に関する医療者の連携構築と実践力育成を目的とした月例症例検討会の活動報告	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-105	T000307	小児緩和ケア教育プログラムのアウトカム評価に関するスコーピングレビュー	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-106	T000601	当院の高齢がん患者に関するワーキンググループの活動報告	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-107	T000785	超高齢がん患者を支えることは	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-108	T000067	がん化学療法中の高齢者における認知症の有無と鎮痛薬・睡眠薬使用状況の関連	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-109	T000188	緩和ケア内科におけるプレクスピブラソールの使用経験	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-110	T000542	緩和ケア病棟における、キワニストールを用いたケアの活動報告	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-111	T000263	認知機能改善に対するマルチモーダルな非薬理学的介入の効果に関する文献検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-112	T000087	A病院障害者病棟における認知症の緩和ケア ～ELNEC-Jを基盤にカンフォータブル・ケアを実践した1事例～	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-113	T000476	急性期における心疾患患者への緩和ケア看護に関する文献レビュー	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-114	T000589	末期心不全患者の呼吸困難症状に対してオキシコドン持続皮下注を使用し、症状緩和が得られた症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-115	T000688	当院における非がん性呼吸器疾患患者に対する緩和ケアチームの介入の効果と評価方法についての検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-116	T000748	慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者の意思決定支援に緩和ケアチームが介入した一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-117	T000467	心移植を目標としていた植込型補助人工心臓装着患者の終末期移行における患者・家族に寄り添う看護支援	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-118	T000313	非がん患者の呼吸困難の緩和ケア –在宅での経口オピオイド導入の経験–	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-119	T000729	難治性持続性心室頻拍（VT）患者の治療縮小に介入した一症例	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-120	T000355	当院の心不全緩和ケアにおける現状と課題の検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-121	T000458	腎機能障害を伴う末期心不全患者の呼吸困難，腹部膨満感に対するブレンロフィンの有効性	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-122	T000519	鎮静を希望した心不全終末期患者に対し、緩和ケアチーム介入により症状緩和し、鎮静することなく最期まで過ごすことができた一症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-123	T000612	A病院における終末期心不全緩和ケアへの取り組み	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-124	T000710	"生きる"ことを考えた末期心不全へのACPの関わり ～自宅退院を実現できた事例～	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-125	T000573	神経難病専門病院の緩和ケアチームが介入した多系統萎縮症患者への支援の実際	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-126	T000189	筋萎縮性側索硬化症患者のオピオイド導入における主観的苦痛評価の変化	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-127	T000339	長期に気管切開を伴う人工呼吸管理を行うALS患者へのオピオイド投与	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-128	T000655	気管切開下人工呼吸療法を希望せず、終末期呼吸ケアに難渋しながら在宅看取りを行ったALS患者の3症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-129	T000794	訪問診療で疼痛を訴える筋萎縮性側索硬化症患者において、筋・筋膜性疼痛に対トリガーポイント注射を行った症例について	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-130	T000115	脳卒中における死亡退院患者の特徴 ～決定木分析の検討～	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-131	T000486	筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の終末期において、摂食・嚥下障害看護認定看護師として食を通しその人らしさを支える一事例	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-132	T000680	当院における下肢虚血、壊死性筋膜炎を中心とした非がん性疼痛への鎮痛薬使用の実態	7月4日（金） 16:30～17:00

発表番号	演題登録番号	演題名	日時
P4-133	T000168	包括的高度慢性下肢虚血（CLTI）における緩和ケアニーズ：スコーピングレビュー	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-134	T000412	肢端紅痛症に伴う小児難治性疼痛に対し外来・入院を通じて多職種で関わった一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-135	T000426	救急・集中治療における終末期医療の現状 単施設後ろ向きコホート研究	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-136	T000712	ICUにおける非がん患者に対する緩和ケアチームの介入の一例ーICU所属の緩和ケアリンクナースとしての活動を振り返るー	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-137	T000079	中毒性表皮壊死症（TEN）に対し、ICU管理期から緩和ケアチームが介入し発症104日目に自宅退院となった1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-138	T000652	当院集中治療室（ICU）で共同意思決定のプロセスを経て緩和目的の抜管を行った一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-139	T000523	集中治療部スタッフにおける「もしバナゲーム{sup}TM{/sup}」を用いたACPワークショップの試み	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-140	T000505	がん患者支援団体「NPO法人あいおぶらす」の活動と今後の課題 ～あいおぶらすの家『いっぱいぼ』の取り組み～	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-141	T000676	NPO法人あいおぶらすの家『いっぱいぼ』の地域における役割	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-142	T000665	重い精神疾患を有するがん患者の臨死期における臨床像についての検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-143	T000176	地域包括ケア病棟における緩和ケアチーム活動の試み～在宅医療との連携～	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-144	T000840	コンパッションコミュニティ・都市に向けてのプロセスの一端としての、コンパッションに満たされたコミュニティが果たした在宅緩和ケアの一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P4-145	T000226	プロボノによる大学を拠点とした「みんなの保健室すずカフェ」	7月5日（土） 15:00～15:30
P4-146	T000436	悪性脳腫瘍患者の終末期の症状の検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-1	T000435	急性期病院の緩和医療初学者が担当したがん患者の予後予測スコアに関する検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-2	T000779	PNI (Prognostic Nutritional Index) は原発性肺がん終末期の予後予測においても有用である	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-3	T000846	当院の緩和ケア病棟に介入中にCOVID-19に罹患した患者と非罹患患者の予後比較について傾向スコアマッチングを用いたコホート研究	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-4	T000422	予後予測スケールを用いた緩和ケアカンファレンス	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-5	T000562	臨死期において、「自分は今日亡くなる」と死期を察知し、実際に速やかに亡くなったがん患者3例	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-6	T000734	当院緩和ケア病棟における予後予測ツールPalliative Prognostic Index（PPI）の妥当性についての検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-7	T000404	新型コロナ禍におけるがん終末期患者の看取りへの関わり	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-8	T000502	「生きがい」を持つことで長期にわたりADLが維持できた末期肺がんの一例ー終末期において理学療法士ができる専門的支援に関する考察ー	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-9	T000786	死別を迎える二人が共に過ごす最期のかげがえのない時間を創出するための看護師の実践	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-10	T000831	看取り期の家族とのエンドオブディスカッションの実態と課題	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-11	T000838	看取りが近づいた患者の家族に対する急性期病院緩和ケア病棟看護師の介入の実例	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-12	T000124	看護師の湯灌に対する思いや実態を明らかにする	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-13	T000438	病状の進行によって本人の意思表出が困難となる中で苦痛緩和の評価について医療者・家族が共同して模索した1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-14	T000089	終末期における積極的治療の予測因子を探索する単施設後方視的研究	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-15	T000096	看護師の看取りケア実践と属性との関連	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-16	T000545	デスカンファレンスが地域包括ケア病棟看護師のストレスコーピングに繋がった1事例	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-17	T000658	産婦人科病棟における看取りの振り返りと今後の課題ー看取りケア確認シートを使用して～	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-18	T000446	中間カンファレンスの有用性～自宅で迎える最期のために	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-19	T000394	急性期病棟で鎮静を受ける終末期がん患者に関わる看護師の困難感	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-20	T000444	がん患者の治療抵抗性の苦痛緩和のための鎮静におけるフェノバルビタルナトリウム静注製剤の使用に関する後方視的検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-21	T000233	48日間持続的鎮静を行った1症例の検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-22	T000051	緩和ケア病棟における苦痛緩和のため鎮静にいたる因子の検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-23	T000063	医療チーム内で鎮静に対する考え方の相違が生じた一事例	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-24	T000829	当院緩和ケア病棟におけるミダゾラムによる鎮静の実態調査と標準化への取り組み	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-25	T000695	多職種鎮静検討シートの作成と活用状況	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-26	T000772	一般病棟における鎮静のカンファレンスの実施の取り組みーがん患者、非がん患者へかかわって～	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-27	T000336	緩和ケアチームによる持続鎮静事前カンファレンス開催の提案	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-28	T000116	総合病院において中咽頭がん患者のスピリチュアルペインに持続的鎮静を行い看取った1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-29	T000318	持続的鎮静プロトコル導入における看護師アンケート結果の検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-30	T000012	深夜待機的死亡診断の条件緩和による普及効果	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-31	T000129	緩和ケア病棟におけるウェルカムアイスの効果	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-32	T000410	緩和と治療病棟再開における緩和ケア認定看護師の活動報告	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-33	T000468	終末期がん患者のがん種別における体組成および代謝・栄養学的指標に関する検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-34	T000371	当院緩和ケア病棟での悪性胸膜中皮腫10例の経過	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-35	T000773	緩和ケア病棟において反回神経麻痺による嚥下障害と悪性消化管狭窄に対して言語聴覚士によるリハビリテーション介入を実施した一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-36	T000200	終末期がん患者の嚥下能力とQOLの関連	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-37	T000508	緩和ケア病棟ではどのような症例が緩和照射の恩恵を享受できるのか～当院の症例より～	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-38	T000249	緩和ケア病棟で維持透析の継続を可能にしたことによる効果	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-39	T000522	HIV感染症を合併したがん末期の患者を緩和ケア病棟で受け入れる際の課題	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-40	T000360	当院の緩和ケア病棟が行っているエンゼルケアについての評価と課題～葬儀社に向けたアンケートから～	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-41	T000460	緩和ケア病棟の看護師が終末期がん患者の意思を尊重した看護実践に関するスコーピングレビュー	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-42	T000107	小規模急性期病院における緩和ケア病床運用の工夫と課題	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-43	T000711	緩和ケア病棟転棟前に看取りとなった急性期病棟入院患者の診断群分類データを含めた検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-44	T000754	緊急入院は緩和ケア病棟に必要か？	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-45	T000205	緩和ケア提供施設における鍼灸の実態調査-北海道の調査報告-	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-46	T000649	緩和ケア病棟に入院したBSCの患者とがん治療中の患者の看護・介護必要度の比較	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-47	T000169	ホスピス型住宅における療養者中心のケアの質の検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-48	T000064	緩和ケア病棟看護師の他部署連携強化に向けた取り組みー一般病棟看護師へ向けた『緩和ケア通信』の発行を行って～	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-49	T000091	くも膜下出血に対するコイリング塞栓術後の頭痛に対する緩和ケアチームと多職種との取り組みについて	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-50	T000405	一般病棟でがん患者のデスカンファレンスを開催することの意義	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-51	T000447	緩和ケアチーム活動を充実させるための取り組み	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-52	T000530	地域医療を担う病院での緩和ケアチーム活動状況と今後の課題	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-53	T000625	当院緩和ケアチームへの非がん患者の介入依頼の現状と今後の活動の課題	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-54	T000716	呼吸器科から緩和ケアチームへコンサルトした症例の検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-55	T000827	緩和ケア病棟をもたない病院での緩和ケアチームの役割について	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-56	T000662	がん疼痛の神経ブロック療法に対する院内外連携の役割	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-57	T000753	RELIEFプログラム：緩和的リハビリテーション提供体制再構築に向けた取り組み	7月5日（土） 15:00～15:30

発表番号	演題登録番号	演題名	日時
P5-58	T000644	オピオイド鎮痛剤使用患者における術後疼痛管理への緩和ケアチームの関わりと今後の課題について	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-59	T000768	骨転移症例の治療方針決定における緩和ケアチーム介入事例の報告	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-60	T000145	在宅継続を望む終末期がん患者のがん性腹水に対する腹水濾過濃縮再静注法の有効性 ～短期入院でKM-CARTを実施して～	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-61	T000407	当院PCT看護師のコンサルテーションから見た役割と今後の課題	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-62	T000581	緩和ケアチームの支援により抗がん剤治療中の患者が海外渡航可能となった症例	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-63	T000109	緩和ケアチームに所属する外来看護師と病棟看護師が横断的に協働して緩和ケアを提供できた症例 ～緩和ケア病棟を有しない当院の取り組み～	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-64	T000381	緩和ケアチーム連絡用PHSを医師が持つことについての検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-65	T000556	過剰適応的な性格のため症状表出困難な患者の副作用評価を行い多職種で疼痛と嘔気の緩和と化学療法を両立した乳癌事例 – 泣くほどつらいと笑顔で申告する患者への介入 –	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-66	T000622	外来化学療法室における苦痛のスクリーニング導入にむけて – 緩和ケア兼任看護師の活動報告 –	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-67	T000641	緩和ケアチーム介入、緩和ケア外来受診の効果について、苦痛のスクリーニング（ESAS-r-J）の数値変化による検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-68	T000005	集中治療を要する急性疾患併発後も、重症患者メディエーターを兼務する緩和ケアチームにより継続介入が行えた1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-69	T000366	リンクナース育成を通じた緩和ケアの質向上への取り組み	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-70	T000500	傾聴とセルフマッサージの効果	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-71	T000775	短期間での良好な疼痛コントロールが退院後の苦悩軽減につながった一症例	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-72	T000221	当院の緩和ケアチームにおけるリハビリテーション専門職の課題と支援の可能性～アンケートによる実態調査からの考察～	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-73	T000399	管理栄養士が鍵となり緩和ケア委員会が介入できた事例	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-74	T000421	PCT回診チームに属するリハビリ技師が担当した症例～リハビリは患者と医療者の架け橋になれる～	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-75	T000509	オンラインによる緩和ケアチームピアレビュー活動報告（兵庫県がん診療連携協議会緩和ケア部会）	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-76	T000582	臨床心理士が加入した緩和ケアチームの活動 ～協働して介入したケースを振り返って～	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-77	T000664	当院の心不全緩和ケアカンファレンスの概要	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-78	T000415	緩和ケアチームは病院の診療活動を反映するかもしれない～当院における7年間の緩和ケアチーム活動3852件の背景調査より～	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-79	T000282	血液腫瘍内科患者における緩和領域でのPICC留置の当院の現状	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-80	T000453	緩和ケアチームにおける精神療法と多職種チーム活動の連携	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-81	T000191	当院におけるオピオイド導入外来の試み	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-82	T000764	緩和ケア外来における心理士同席の試みとその成果	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-83	T000391	がん患者のADL曲線を用いた意思決定支援に基づいた終末期後期の療養についての検討 -2021年度と2023年 死亡症例からの比較-	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-84	T000181	地域がん診療連携拠点病院における緩和ケア内科の充実に向けた取り組み	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-85	T000766	緩和ケア科におけるオンライン診療の現状と課題	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-86	T000781	外来診療における管理栄養士の介入について	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-87	T000822	緩和ケア外来における漢方の役割	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-88	T000182	「痛みやつらさに関する質問票」活用による看護実践への繋がりを目指した取り組み－緩和ケアリンクナースの活動支援を通して－	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-89	T000698	進行卵巣がん患者の苦痛の実態と看護支援の検討：IPOSを用いた包括的評価	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-90	T000815	放射線治療室に勤務する緩和ケア認定看護師の活動と課題	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-91	T000164	腹水を伴うがん患者のPRO（Patient Reported Outcome）による症状評価	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-92	T000241	IPOS導入後の緩和ケア病棟で働く看護師の思い	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-93	T000706	当院のがん患者スクリーニングから見える緩和ケアチーム介入の問題点 – 誰一人取り残さないがん対策のために –	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-94	T000105	悪性腫瘍で外来通院している患者に対して外来看護師が果たす役割	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-95	T000383	急性期病院における苦痛スクリーニングを用いた緩和ケアカンファレンス対象患者選定拡大への取り組み	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-96	T000334	頭頸部悪性腫瘍患者に対する緩和ケアチームの予防的介入がもたらした効果	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-97	T000217	緩和ケア早期介入における麻酔科医による術前診察の有用性	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-98	T000409	当院呼吸器診療に携わる医療者のアドバンスケアプランニングに関する知識および態度についての単施設前向き観察研究	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-99	T000757	診療後早期から多職種が関わることで、自宅での看取りができた終末期胆管細胞がん患者の一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-100	T000525	早期緩和ケアの障壁に対処する、「ケアプラス」の紹介と活動報告	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-101	T000080	緩和薬物療法認定薬剤師による外来患者への介入が入院イベントと外来通院期間に与える影響	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-102	T000338	臨床アロマセラピーにおける吸入デバイスの違いによる症状改善効果についてのクロスオーバー比較試験	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-103	T000343	介護支援を要した終末期がん患者の医療や療養生活に関する全国アンケート調査―終末期医療に関する希望、社会資源の利用を中心に	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-104	T000578	急性期病院である当院における、終末期がん患者に対しモニターを装着しない看取りに関する調査	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-105	T000713	終末期ケアに携わる看護師が考えるよい死とは	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-106	T000482	造血器瘍患者と固形腫瘍患者の望ましい死の達成度と終末期ケアの質比較：全国遺族調査の結果から	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-107	T000675	地域に質の高い緩和ケアを提供するための療養病床の役割	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-108	T000179	地域包括ケア病棟と緩和ケア病棟がそれぞれの役割を果たすためのリンクナースと緩和ケアチームの働き	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-109	T000566	父を看取る	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-110	T000302	Best Supportive Care決定から1ヶ月未満で死亡した4症例の検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P5-111	T000049	終末期がん患者の希望が聴取できない際の作業療法士の介入方法に関する予備調査	7月5日（土） 15:00～15:30
P5-112	T000276	当院のPatient-Controlled Analgesia（PCA）ポンプ運用の実際	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-1	T000215	看護学生に対する終末期看護の講義内容の一考察	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-2	T000441	医学部1年生を対象としたearly exposureにおけるbad newsの伝え方のロールプレイ前後での自己評価の比較	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-3	T000548	医学生への緩和ケア実習を選択したプロセスについてのインタビュー調査：質的研究	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-4	T000549	医学生への緩和ケア実習での体験についてのインタビュー調査：質的研究	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-5	T000380	医学部6年生に対する緩和ケア卒前教育：緩和ケア病棟入院患者と医学生の対話を通じた実習の報告	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-6	T000516	医学生を対象とした看取り教育に対するリバーサルケアパスウェイ教育の上乗せ効果に関する探索的検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-7	T000533	大学生におけるがんに関する情報源と食・栄養の関心事	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-8	T000498	クリニカルクラクシップ前後での緩和ケアに対する意識の検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-9	T000011	看護学生から見た望ましい死	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-10	T000220	緩和ケア病棟看護師における「緩和ケア実践 自己評価シート」の改定後の変化	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-11	T000539	未成年の子どもがいるがん患者・家族支援研修（Panda 研修）アドバンス編が支援者に与える影響	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-12	T000245	がんサバイバーシップケア向上に向けた多職種医療者の学習ニーズ調査と教材開発の方向性	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-13	T000565	患者の寄り添い方に対するスタッフ教育	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-14	T000428	デスクカンファレンスの環境が看護師のターミナルケアに対する思考態度に与えた影響-Frommeltのターミナルケア態度尺度日本語版を用いた検討-	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-15	T000223	当院におけるELNEC-Jアカリキウム看護師教育プログラムの評価とフォローアップ研修の方向性 ～研修終了後のアンケートから見える今後の課題～	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-16	T000035	10年にわたる継続的なELNEC-J研修開催の原動力と今後への課題	7月4日（金） 16:30～17:00

発表番号	演題登録番号	演題名	日時
P6-17	T000289	ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムのフォローアップ研修の有効性の検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-18	T000319	緩和ケアマニュアル作成の効果についての考察	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-19	T000763	緩和ケアリンクナースの活動と支援ニーズの調査―自部署からの相談内容を通して―	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-20	T000278	入院患者における麻薬自己管理の院内普及状況と医療者意識の調査	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-21	T000324	麻薬使用に関する知識向上とインシデント低減の取り組み	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-22	T000605	コロナ前・コロナ後に就職した訪問看護師のがん患者に対する困難感 ～困難感尺度のアンケートを用いて～	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-23	T000398	介護老人保健施設での看取りにおける今後の課題	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-24	T000395	A病院においてリンクナースががん看護専門看護師と同行実践を行うことでの学び	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-25	T000599	12時間型徐放性オピオイド製剤適正使用に向けた医療者の服薬管理に関する意識調査	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-26	T000061	ACP（アドバンス・ケア・プランニング）教育を行うための教育資料の作成	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-27	T000619	当院看護師における臨床倫理の認識と課題	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-28	T000615	院内看護師による緩和ケア事例集の作成とその成果	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-29	T000814	マニュアルを用いた知識の共有化について	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-30	T000015	ホスピス・緩和ケア週間イベント実施報告 ～緩和ケア・人生会議への患者・市民の参画をめざして～	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-31	T000131	A病院のがん患者サロン「とまり木」の現状と課題	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-32	T000081	明るく・楽しく・自分らしい最期を考える「サイ五郎さんちの人生会議」を用いたACPの普及啓発活動	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-33	T000464	生老病死を日常生活の中で「自分ごと」として考えるための異業種協働 ～縁起でもないつどい、第1回活動報告	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-34	T000746	「とにかく明るいACP」在宅緩和ケアネットワークにおける地域住民への普及啓発活動	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-35	T000715	チーム活動の一環として、院内がん登録情報を地域住民と共有することでみてきたもの	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-36	T000172	中学校におけるがん教育外部講師活動：オンライン授業の試み	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-37	T000567	医療者が実施するがん教育の効果と課題	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-38	T000030	がん看護に携わる看護師に対する哲学対話研修プログラムの試み	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-39	T000296	看護師のためのコミュニケーションスキルトレーニング研修会の 研修効果に関するアンケート調査	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-40	T000752	小児在宅医療における、患者・家族とのコミュニケーションツールとしてのLINE®の有用性について	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-41	T000075	アドバンス・ケア・プランニングに関するA病院看護師の認識	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-42	T000138	淡路島におけるACP（アドバンスケアプランニング）普及状況と課題	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-43	T000192	中国人高齢患者においてアドバンス・ケア・プランニングを実践する上で、文化的背景の違いが障壁となった一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-44	T000218	A病院看護師のアドバンスケアプランニングにおける困難感と看護師の年齢、経験年数、学歴、学習経験、個人としての経験、支援経験の有無との関連の検証	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-45	T000484	意思決定支援に関するアンケート調査結果から得た今後の取り組み	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-46	T000493	大学病院における意思決定支援の現状について	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-47	T000514	「最期は入院。」と意思決定したが、最期まで「まだ時期ではない」と訴えた患者との関わり	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-48	T000593	再発食道がんの一例～緩和ケア外来やチームでのアドバンス・ケア・プランニング～	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-49	T000628	アドバンス・ケア・プランニングにおける看護師の意識調査	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-50	T000685	造血器腫瘍の治療期にある認知症高齢者の意思決定を支援する病棟看護師の困難感	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-51	T000728	医療療養病棟における高齢透析患者の意思決定支援について	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-52	T000747	ACP支援を広げるためのがん診療PDCAワーキンググループ活動報告	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-53	T000789	当院の乳がん診療に携わる医療従事者へのアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の実態調査	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-54	T000016	当院における緩和ケア病棟に移行した造血器悪性腫瘍症例のアドバンスケアプランニング(ACP)についての後方視的検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-55	T000765	「最期は病院で」と意思表明していた在宅療養患者が自宅での看取りとなった経緯を振り返って	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-56	T000463	訪問看護師がACP（アドバンス・ケア・プランニング）を実践し、話し合った内容を実現することが、家族の後悔にどのように関連しているかについて	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-57	T000480	世帯構成および意思決定支援者が療養の場所の選択におよぼす影響～2013年と2023年の比較～	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-58	T000117	統合失調症を併発したがん患者の意思決定支援	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-59	T000638	びまん性橋髄腫の患者と家族への支援に関する実態調査（第2報）―意思決定支援の実態―	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-60	T000659	挿入型LVAD患者の終末期に直面した事前指示書の課題～ACPの本質を問い直す～	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-61	T000144	高齢者急性骨髄性白血病の予後延長に伴う、受容過程の変化やACP設定見直しの必要性について	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-62	T000740	当院緩和ケア病棟におけるその人らしさアンケートの結果と考察	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-63	T000040	緩和ケアチームが携わる仲間づくり～患者・家族中心の意思決定支援に向けて～	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-64	T000457	もしばなゲームを活用した院内職員のACP啓もう活動の取り組みとその効果	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-65	T000720	がん看護外来におけるアドバンスケアプランニングの支援に関する活動報告	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-66	T000018	A大学病院看護師の意思決定支援に影響を与える要因の検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-67	T000743	化学療法継続ではなく自宅療養を優先し、乳癌患者の希望を叶えた1例	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-68	T000125	急性期病院におけるDNARとACP	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-69	T000136	ACP（アドバンス・ケア・プランニング）に関する医療者の認識～5年間のもしバナカードを用いたACP研修のアンケート調査より～	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-70	T000642	がん患者の意思決定支援において潜在していた支援ニーズと看護実践	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-71	T000832	アドバンス・ケア・プランニングの実践に対する看護師の困難感低減に関する教育的要因	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-72	T000320	岡山県のがん患者におけるアドバンスケアプランニング意識の認知率と話し合いの希望に影響を与える社会的要因	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-73	T000726	「世界で初めて」のその前に～本質的な意思決定支援と緩和ケアのあり方～	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-74	T000314	当院でのアドバンス・ケア・プランニング（ACP）実践への取り組みと医療従事者の意識調査	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-75	T000332	急性期病院から継続するアドバンス・ケア・プランニング(Advance Care Planning：ACP)における一考察	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-76	T000387	当院の意思決定支援についての現状と課題	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-77	T000517	意思確認困難患者における意思決定支援のチームアプローチ～代諾者がいない患者背景においてできること～	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-78	T000535	多職種カンファレンスを活用した意思決定支援の取り組み	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-79	T000604	ACPIに関する急性期病院職員の意識調査	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-80	T000739	地域密着型の中小病院におけるACPの取り組み	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-81	T000780	筋萎縮性側索硬化症患者の意思決定支援に、多施設多職種で関わり支援した一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-82	T000817	急性期病院において全ての入院患者に人生の最終段階と意思表明の可否をスクリーニングする試み	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-83	T000836	つなぐACPサマリーの構築	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-84	T000163	臨床倫理検討委員会の設立とその役割：病院内での倫理的課題への取り組み	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-85	T000432	精神障害があり代理意思決定者がいない造血器腫瘍患者の意思決定支援に関する一事例	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-86	T000135	わたしの生き方ノートの実態調査	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-87	T000309	アドバンス・ケア・プランニングに関する山梨大学医学部附属病院初期研修医の意識調査	7月5日（土） 15:00～15:30

発表番号	演題登録番号	演題名	日時
P6-88	T000248	緩和ケア病棟での多職種協同によるリハビリテーションの工夫	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-89	T000323	外部歯科衛生士と協働した口腔ケアチームの活動報告～口腔管理体制構築に向けた取り組み～	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-90	T000266	当院乳腺外科における薬剤師診察前外来の取り組み ～患者の気になることや不安に多職種で寄り添う～	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-91	T000489	緩和ケアチームと病棟担当管理栄養士との協働による患者支援	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-92	T000569	精神科医や公認心理師の緩和ケアチーム回診同行による依頼状況の変化	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-93	T000806	医療用麻薬を拒む患者に対し症状体験からケアを検討した一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-94	T000709	仰臥位時の疼痛により放射線照射が困難であった患者に対し、non-operating room anesthesia(NORA)によって治療を完遂した事例	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-95	T000076	盲ろう者末期がん患者に対して多職種チームで緩和ケアを実践した一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-96	T000586	放射線科と協働で取り組む、より良く生きるための積極的な症状緩和	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-97	T000126	がん患者の自殺予防リスクマネジメント研修を受けた職員が考えた対応方法から見た課題	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-98	T000140	自院で運用しやすい自殺予防マニュアル作成に向けた取り組み	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-99	T000802	ケミカルコーピングの背景に自閉スペクトラム症の影響が考慮された辟がん患者の一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-100	T000329	精神障害を抱えた母娘の看取りに向けた多職種支援 ～娘の自立を見据えた関わりを通して～	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-101	T000760	肺がんに罹患した夫と軽度認知症を抱える妻を専門職チームで支えた1事例の報告	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-102	T000224	自宅の2階の部屋に帰りたい ～予後を伝えることで本人の希望が実現できた1例～	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-103	T000139	「地方都市における高齢者ががん患者を支える多職種協働体制プログラム」 ～共に支え、心を紡ぐ、コンパッション・シティ“あらお”を～	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-104	T000288	「虐待」と認定され分離となった患者・家族が同居に至るまでの関わりを振り返る	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-105	T000328	施設で暮らすがん終末期患者・家族を取り巻く多職種連携：文献検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-106	T000406	外来化学療法室看護師と訪問看護師との連携により患者が希望する通院治療を支援した一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-107	T000585	乳がん専門病院における地域連携型骨転移カンサーボードの構築	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-108	T000550	びまん性橋脚腫の患者と家族への介入に関する実態調査（第1報） ―多職種連携の実態―	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-109	T000653	高齢者機能評価に基づいて緩和ケアチームが入院前から介入する体制の効果	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-110	T000660	複数の多職種チーム間での迅速な情報共有と方針検討が在宅療養生活の質向上につながったと思われる重症心不全の1例	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-111	T000459	STAS-Jを活用した多職種カンファレンス	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-112	T000053	地域がん診療拠点病院としての専門性緩和医療の支援と課題 ～同一医療圏の中核病院への支援活動を通じて～	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-113	T000798	緩和ケアチーム専従看護師として活動する認定看護師が感じている困難	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-114	T000242	外来がん患者カンファレンスの一考察	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-115	T000197	緩和的放射線治療普及にむけた日本放射線腫瘍学会の取り組み	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-116	T000219	専門的緩和ケアを担う医療者に求められるInterprofessional Workに必要なコンピテンシー原案の作成	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-117	T000722	在宅緩和ケア充実診療所である当院における、新規患者問診シートの運用実績	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-118	T000101	発達障害がある若年婦人科がん患者の特性に合わせた意思決定および治療期の支援	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-119	T000483	危機的状況で搬送された進行がん患者に対する救急科入院下での意思決定支援	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-120	T000273	化学療法を受けている患者が看護師に求めていること 統一した看護提供をめざしたアンケート調査を行って	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-121	T000349	職員による患者・家族に対するハンドベル演奏が職員自身に与えた影響について	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-122	T000167	A病院の緩和ケア病棟および一般病棟看護師の終末期がん患者に対する緩和ケアに関する困難感の実態	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-123	T000707	がん終末期患者と家族のケアに携わる一般病棟看護師の思い	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-124	T000047	重症低血糖症の治療を拒否した終末期転移性肝腫瘍患者を巡る「比較類型論」的臨床倫理分析の試み	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-125	T000576	胃癌に対する画像下治療（IVR）について、倫理的ジレンマを多職種で共有し意思決定支援を行なった一例	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-126	T000361	患者の「食べたい」に寄り添うための倫理的検討を経て経口摂取再開を選択した一例	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-127	T000495	一般病院におけるDNAR同意書・ガイドライン作成と運用	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-128	T000372	苦痛緩和を望まないがん終末期の利用者にとって最善の選択肢とは ～看護・介護者が向き合った倫理的課題とは～	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-129	T000374	BSCの方針となり転院してきた患者の治療継続を多職種で支えた一例 ～倫理カンファレンスの実践を振り返る～	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-130	T000148	行政と病院が協働し行う緩和ケア育成事業『横浜市緩和医療専門医育成プログラム』	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-131	T000052	コンパッションコミュニティへの小さな一歩	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-132	T000682	地域がん診療連携拠点病院における緩和医療領域の施設基準管理に関する一考察	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-133	T000262	日本で使用可能ながん患者の介護者の負担の程度を測定するスケールに関する文献レビュー	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-134	T000141	遺族からみた臨終期患者のケアの質の評価：中国語版International Care Of the Dying Evaluation（i-CODE）の信頼性・妥当性の検討	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-135	T000741	在宅緩和ケアにおけるケアの質の総合評価と医療者の自己評価測定の可能性	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-136	T000007	予後月単位と週単位の終末期がん患者のせん妄の発症予防に対する看護支援の実態調査：多施設横断調査	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-137	T000003	予後月単位と週単位の終末期がん患者の呼吸困難に対する看護支援の実態調査：多施設横断調査	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-138	T000008	予後月単位と週単位の終末期がん患者の悪心・嘔吐に対する看護支援の実態調査：多施設横断調査	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-139	T000019	予後月単位と週単位の終末期がん患者の家族介護者の介護負担に対する看護支援の実態調査：多施設横断調査	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-140	T000048	予後月単位と週単位の終末期がん患者の便秘に対する看護支援の実態調査：多施設横断調査	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-141	T000073	学校におけるがん教育において主体的な深い学びや自己理解を促進するための心理社会的支援についての一考察	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-142	T000108	認知症高齢者を在宅介護する家族介護者の介護負担感とウェアラブルデバイスを用いた脈拍変化の関連	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-143	T000123	地域貢献活動としての研修評価と課題 ～専門性の高い看護におけるパッケージ見学研修を開催して～	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-144	T000186	がん関連倦怠感に対するアロマセラピーの影響に関するスコーピングレビュー	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-145	T000294	A病院緩和ケア病棟における身体拘束に関する意識調査	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-146	T000400	がん患者に対するアロマセラピーによるQOLへの影響に関するスコーピングレビュー	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-147	T000401	がん疼痛に対するアロマセラピーの影響に関するスコーピングレビュー	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-148	T000402	がんに伴う不安・抑うつに対するアロマセラピーの影響に関するスコーピングレビュー	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-149	T000758	放射線治療医の積極的介入による緩和的放射線治療件数の検討	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-150	T000470	人工知能を用いた心不全緩和ケアコミュニケーショントレーニングモデルの開発	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-151	T000178	一般病棟における看護師の緩和ケアの認識と実践の変化	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-152	T000235	一般病棟の看護師における終末期がん患者に対するケアリング行動の関連要因	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-153	T000647	香川大学医学部における全インド医科大学を対象としたJICA委託事業緩和ケア研修3年目の活動報告～がん相談支援センターの活動紹介を含む経験～	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-154	T000208	看護師のアロマセラピーへの関心・効果の期待・活用方法・導入希望に関する実態調査	7月4日（金） 16:30～17:00
P6-155	T000826	一般病棟における終末期がん患者の看護に対する看護師の困難感 ～KJ法を用いての調査結果～	7月5日（土） 15:00～15:30
P6-156	T000093	COVID-19流行が入院緩和ケアに与えた影響 -神奈川県国民健康保険レセプトデータを用いた時系列解析	7月4日（金） 16:30～17:00